

報告書

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満用)

The University of Tokyo Study Abroad/Student Exchange Program Report Form (for programs from one semester to a year)

記入日/Date: 2022/7/14

■ID: A21096

■参加プログラム/Program: 全学交換留学

■プログラム情報/Program info.: <https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/program-list-USTEP.html>

■派遣先大学/Host university: マンチェスター大学

■留学期間/Program period (yyyy/mm/dd): 2021/9/17 ~ 2022/6/30

■東京大学での所属学部・研究科等/Faculty/Graduate School at UTokyo: 文学部美学芸術学科

■学年(留学開始時)/Year at the time of study abroad: 学部3年

■留学を決めるまでの経緯/How and why did you decide to study abroad? :

友人のすすめで2020年の夏ごろに留学を決めました。交換留学は比較的費用を安く留学することができるので、このタイミングで留学することにしました。

留学の時期について/About the timing of the study abroad period

■留学前の本学での修学状況/Academic status BEFORE the program :

2020年/Academic year / 学部3年/University year / S2学期まで履修/Completed semester

■留学中の学籍/Academic Status during the studying abroad/program :

留学

■留学後の本学での修学状況/Academic status ON RETURN :

2020年/Academic year / 学部3年/University year / A1学期から履修開始/Semester

■留学にあたってこの時期を選んだ理由/Reason for choosing this period to study abroad :

学部生のうちに留学するにあたって、卒論準備の時期も考えてこの時期が最も自身の研究に有効だと思ったから。

学習・研究について/About study and research

■留学先で履修した授業科目と単位数の詳細/Subjects taken and credits earned :

The Art of Film/20

Surrealism, Gender, Sexuality/20

Anthropology of Art, Sound and Images/20

Art in Britain/20

Picasso/20

■留学中の学習・研究の概要/Overview of the study/research during study abroad :

授業前に指定された論文などを読み、授業では約1時間の講義と約2時間のディスカッションが行われることが多かったです。シュールレアリスムやピカソについて扱った20世紀前半の芸術運動についての授業や、ヴィクトリア朝期の英国美術についての授業が印象的でした。

<p>■ 留学先での 1 学期あたりの履修科目数と履修単位数/Number of subjects registered per semester and credits earned per semester :</p>
<p>1~3 科目/Subjects / 21 以上単位/credits</p>
<p>■ 1 週間あたりの学習・研究に費やした時間/Hours spent for study/research per week :</p>
<p>21 時間以上/hours</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだもの/Activities you took part in other than study/research :</p>
<p>文化活動</p>
<p>■ 学習・研究以外の活動で取り組んだものの内容、または取り組まなかった理由/Details of the activities you chose, or the reason why you did not take part in any activity other than study/research :</p>
<p>留学先大学の日本語学科の学生との交流</p>
<p>■ 週末や長期休暇の過ごし方/How did you spend the weekends and vacations? :</p>
<p>街の中心に行くことや、電車バスなどで他の街に行くこともありました。長期休みでは大陸ヨーロッパ観光を行いました。</p>

派遣先大学の環境について/About environment at the host institution

<p>■ 設備/Facilities :</p>
<p>大きな大学図書館があり、長期の貸出も可能でした。ジムがあります。大学としての食堂は大してなく、購買や近くのスーパーなどで買う人が多かったです。WiFi は時々大学全体でのトラブルが起きましたが概ね問題なく使用できました。</p>
<p>■ サポート体制/Support for students :</p>
<p>英語非母語話者向けのライティング講座を、普通の授業とは別に受講することができました。各授業でも、授業時間のほかに先生への質問などが行える時間が週に 1 度 1 時間設けられていました。不安などの相談先も紹介されていたので、このあたりのサポートは充実していました。</p>

プログラム期間中の生活について/About life during the program

<p>■ 宿泊先の種類/Type of accommodation :</p>
<p>学生寮</p>
<p>■ 宿泊先の様子、どのように見つけたか/Environment around the accommodation and how did you find it :</p>
<p>個室、キッチントイレ共用、朝夕の食事つき。大学から複数の学生寮が紹介され、希望のものに応募する形でした。</p>

<p>■ 気候、大学周辺の様子、交通機関、食事等/Climate, environment around the institution, transportation, food, etc. :</p>
<p>マンチェスターの天気は変わりやすく、特に冬季は 1 日 1 回は雨が降るような感じでした。学生街なので一つの通りの区画全体が大学エリアになっており、生活に必要なものも近辺で一通りそろいます。町自体がコンパクトなので交通機関は時々バスを使う程度で徒歩で日常生活はほぼ賄えました。天候的に暗い時期が多いですが、生活自体はしやすい環境なので問題なく過ごせると思います。</p>
<p>■ お金の管理方法、現地の通貨事情/Management of money and situation about local economy :</p>
<p>デビットカードの作成。イギリスはほとんどキャッシュレス対応しているのでカードがあれば基本不自由なく生活できます。むしろスーパーなどは現金対応できないレジも多かったです。</p>
<p>■ 治安、医療関係事情、心身の健康管理で気をつけたこと等、危機管理/Aspects of risk and safety management,</p>

local health care system, and any actions taken to maintain your health :

治安も決して悪くはなく夜も多くの国の学生が普通に外出できていました。特に個人的に問題が起こらなかったのですが、NHS の医療保険や大学にはジムなどもあるので環境はある程度整備されていると思います。

留学前の準備・手続きについて/About preparations and procedures before studying abroad

■ 留学先への入学手続き/Procedures for enrollment required by the host institution :

留学先の大学への留学願(何の科目を履修したいか、自身の関心を持っていることなどを記入)コロナによる渡航制限がまだ厳しかったため、東京大学での所属部局に対する渡航許可願(現地の感染状況、ワクチン接種状況、留学先の大学の対応、この時期に留学が必要な理由など)全ての項目に一通り丁寧に記入することで問題なく手続きが済みました。

■ ビザの手続き/Procedures to obtain visas :

1 年間の英国学生ビザ、英国ビザ申請センター、2 週間ほど申請に必要な書類等は情報が不明確だったので、とりあえず準備できるものは準備して申請センターに行く方がいいです。申請までの時間も不安定なようなので 1 ヶ月は余裕をもって申請するのが理想ですが、時間がない場合は 3 万円程度新たに支払うと優先で 1 週間弱で受理されるようです。

■ 医療関係の準備/Preparations or actions taken to maintain your health :

新型コロナワクチンを 2 回接種して渡航

■ 保険関係の準備/Preparations/procedures for insurance :

大学からの指示に従い加入するので問題ないと思います。イギリスでは滞在中 NHS に登録することで無料で医療機関を受診できます。

■ 東京大学の所属学部・研究科(教育部)での手続き/Procedures required by faculties or graduate schools at UTokyo :

所属学部の担当部署に対する渡航許可願と、留学による 1 年在学の延長を報告しました。

■ 語学関係の準備/Language preparation :

IELTS スコア 7 で渡航。渡航前、直後は慣れない英語に不安を感じましたが、使わざるを得ない状況にいつれ、英語を使うハードルは低くなってきたので、到着後の慣れがいちばん大きかったと思います。

費用・奨学金に関すること/About expenses and scholarships to participate in studying abroad

■ 参加するために要した費用/Expenses of participation :

航空費/Airfare	180,000 円/JPY
派遣先への支払い(授業料・施設利用料など)/Payment to host institution (tuition, facilities fee, etc.)	0 円/JPY
教科書代・書籍代/Textbook / Book	30,000 円/JPY
海外留学保険料(東京大学指定のもの)/Overseas travel insurance fee (designated by UTokyo)	29,700 円/JPY
保険・社会保障料(留学先で必要だったもの)/Insurance and/or social security (required by host institution/region/country)	0 円/JPY

■ その他、補足等/Additional comments :

--

■ 留学先での毎月の生活費/Monthly cost of living during the study abroad period :	
家賃/Rent	120,000 円/JPY
食費/Food	40,000 円/JPY
交通費/Transportation	5,000 円/JPY
娯楽費/Entertainment/Leisure	30,000 円/JPY
■ その他、補足等/Additional comments :	

■ 留学のための奨学金の受給有無/Scholarships for study abroad :	
受給した。	
■ 奨学金の支給機関・団体名等/Name of the source of the scholarships :	
JASSO	
■ 受給金額(月額)/Monthly stipend :	
80,000 円	
■ 受給金額についての補足等/Additional comments about the monthly stipend :	
■ 奨学金をどのように見つけたか/How did you find the scholarships? :	
大学(本部)からの紹介。	

今後の予定について/About your future plans

■ 留学先で履修した授業科目のうち、単位認定申請をする(予定のもの)/The subjects for which you plan to (are planning to) transfer credit to UTokyo :	
なし。	
■ 留学前に取得済みの単位数/Number of credits earned at UTokyo BEFORE your study abroad :	
42 単位/credit(s)	
■ 留学先で取得し、単位認定申請を行う(予定の)単位数/Number of credits earned and (planned to be) transferred to UTokyo :	
0 単位/credit(s)	
■ これから本学で取得予定の単位数/Number of (expected) credits to be earned on return :	
34 単位/credit(s)	
■ 卒業/修了予定/(Expected) year/month of graduation (yyyy/mm) :	
2024 年 3 月	

留学を振り返って/Reflection

■ 留学の意義、その他所感/Impact of the study abroad experience on yourself or your thoughts :	
ヨーロッパで多くの西洋芸術に実際に触れられたことで、それらの興味関心、知識を大いに高めることができました。語学力の成長はまだ不十分だと感じていますが、英語を使うハードルは大きく下がったので、語学面でも良い効果がありました。	
■ 今後のキャリアに対する考え方や就職活動に与えた影響/Impact of the program on your thoughts for a career or job hunting :	

海外で働く可能性がでたことです。
■ 留学による今後のキャリア・就職活動へのメリット・デメリット/Merit/Demerit of studying abroad on your future career/job hunting :
留学で大学在学が伸びる場合がありますが、将来的にはそれで得られた文化的経験や語学に対する姿勢は必ず生きると思います。
■ 留学中に行った就職活動/Job hunting activities during study abroad :
いずれも行っていない。
■ 進路・就職先(就職希望先)/Career/Occupation (planned) :
■ 今後留学を考えている学生へのメッセージ、アドバイス/Any messages or advice for future participants :
留学前は分からないことも多く不安が大きいと思いますが、誰でもそのような状態で出発することになるので、現地に着いてから色々経験し学ぶことを大切にしてもらえればと思います。
■ 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト、出版物/Websites or publications which were useful while preparing for or during your time overseas :
特になし。